

## 社長メッセージ

2023年8月2日（水）

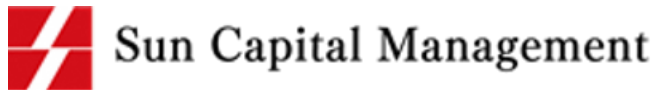
### ■ 「エンジン／SUN Digital Transformation③」

皆様、おはようございます。

一昨日、昨日の続きです。障がい者雇用促進法では、企業に対し従業員に占める障がい者の割合を一定以上にするよう義務づけていて、現在は2.3%となっています。この障がい者の雇用率について、厚生労働省は現在の2.3%から段階的に引き上げ、2024年4月に2.5%、2026年7月に2.7%になります。この障がい者法定雇用率を遵守できていない場合には、ペナルティもあるため、対応に苦勞している企業が多いことを知っています。また、障がい者を雇用していたとしても、昨日ご紹介した『サンアクア TOTO』さんや『障がい者つくし更生会』のように、その企業の本当の戦力として、障がい者の方々を雇用している企業は、少ないのではないかと思います。私たち SUN Digital Transformation では、このようなお悩み・課題についても、一緒に解決をさせていただきます。

また、Digital Transformation (DX) を進めるために、RPA (Robotic Process Automation : ソフトウェアロボットによる業務自動化) の導入や、AI (人工知能) の導入をされている企業も多いと思います。しかしながら、せっかく高いコストで導入したにもかかわらず、使いこなせていない、却って、社員の皆さんの業務量が増えたというお話もよく聞きます。これは、わが国では、欧米等と比較して、IT 人材が IT 関連企業に従事する割合が高く、ユーザー企業に従事する割合が低いこと、東京の IT 関連産業 (情報通信) 企業への集中も顕著な状況で、IT 人材の東京の IT 企業の集中により、地域のデジタル化を推進する IT 人材が不足していること、というのも理由として挙げられます。そのようなお悩み・課題についても、私たち SUN Digital Transformation は、RPA 開発支援や AI アノテーション [AI に学習させたいデータに意味付け (タグ付け) を行う作業 (教師データ作成)、AI 開発における非常に重要な役割をもっています。AI は教師データによって学習され、その学習をもとにアウトプット (推論) をおこなうため、アノテーションの精度によって AI の精度が変わります。] といったお手伝いで、一緒に解決をさせていただきます。RPA の正しい開発・運用、アノテーションをしっかりと行った AI での運用を行えば、高品質で、決められた仕事であれば、人間よりも早く仕事を終わらせることが可能です。そのため、業務効率化や人件費などのコスト削減が実現可能になってきます。

現在、障がい者手帳を保有している発達障がい者の方々は、約 400 万人いらっしゃいますが、実は、手帳を保有していない、隠れた発達障がい者の方々は、人口の約 10%いると言われています。これら発達障がい者の方々が生きにくいと感じる社会ではなく、他人の目を気にすることなく、その才能を活かして、自由に仕事ができる環境を作ることも、私たち SUN Digital Transformation / 燦キャピタルマネージメント・グループの使命だと考えています。より良い環境を提供して、ギフ



テッドたちの才能をお借りして、より高度で使いやすい DX サービスを、多くの企業・土業の皆様  
に提供したいと考えております。

今週から、DX サービスの提供が始まりました。ご依頼頂いた皆様には、かなり喜んで頂き、嬉  
しい限りです。社会的貢献度の高い DX サービスに、どうぞご期待ください。

代表取締役社長 前 田 健 晴